

特 別 講 演 I

1 日目 10 月 16 日 (木) 15:30 ~ 16:20
第 1 会場 (市民会館崇城大学ホール 1F)

大震災の時代に生きる

五百簾頭 真 (熊本県立大学理事長・元東日本大震災復興構想会議議長)

座長 一二三 倫郎 (熊本赤十字病院 院長)

特別講演 I

大震災の時代に生きる



熊本県立大学理事長・元東日本大震災復興構想会議議長
五百旗頭 真

【略歴】

- 1967 年 京都大学法学部卒業
- 1969 年 京都大学大学院法学研究科修士課程修了（政治学専攻）
- 1976 年 広島大学助手、専任講師を経て広島大学法学部助教授
- 1977 年 米国ハーバード大学客員研究員（1979 年まで）
- 1981 年 神戸大学法学部教授（政治外交史・制作過程論）
- 1998 年 日本政治学会理事長
- 2002 年 米国ハーバード大学客員研究員
- 2006 年 防衛大学校校長
- 2011 年 東日本大震災復興構想会議議長（2012 年まで）
- 2012 年 復興推進委員会委員長（2013 年まで）
- 2012 年 公立大学法人熊本県立大学理事長
- 2012 年 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構理事長

【主な著書】

- 「米国の日本占領政策（上・下）」（1985 年 サントリー学芸賞）
- 「日米戦争と戦後日本」（1990 年 吉田茂賞）
- 「占領期―首相たちの新日本」（1998 年 吉野作造賞）
- 「戦後日本外交史」（編著・1999 年 吉田茂賞）
- 「日米関係史」（編著・2008 年）
- 「歴史としての現代日本」（2008 年 毎日書評賞）

東日本大震災の猛威に対し「想定外」との悲鳴が発せられた。人事を尽くすべき部分までこの言葉で逃げる傾向が批判され、最近の集中豪雨などに際しては「かつて経験したことのない」という表現が用いられる。

いずれにせよ、われわれは百年に1回、千年に1回の大災害活性期に住み合わせているのである。

歴史的に比較すれば、今日の「次なる大災害」への備えは、史上最高レベルである。

であるにせよ大災害は容赦なく人々に襲いかかり、「経験したことのない」悲惨をもたらす。起きてしまった悲惨の極みにあっては、人々を救出し手当する社会の組織的対応力を頼みにする他はないであろう。

日赤の皆様の御健闘に期待したい。